



☎ 591-7376
akito.n@m3.
dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2004年 10月発行 第34号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しん 赤旗 ぶん

日刊紙 1か月 2900円
日曜版 1か月 800円

お申し込みは
南多摩事務所
☎042-374-4384
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡
南平駅
中野あきと事務所

ヤマダ
デキ

北野街道

三沢の緑地開発

日野市が開発規制へ条例制定

三沢三丁目の、丘陵斜面の緑地で計画中の高層マンション建設に対して、九月市議会は最終日、開発規制を求める周辺住民から出された請願を、全会一致で採択しました。また、馬場市長は十月、臨時市議会を開き条例を提案することを表明。法の盲点を利用した開発に、条例による規制が加えられることになりました。

住民運動と議会での論戦が、市政を動かす

市議会最終日の本会議では、日本共産党が無党派や生活者ネットの賛同を得て提出した『斜面地建築物の構造の制限に関する条例(案)』の審査も行なわれ、中野あきと議員が提案説明を行ない、自民党議員からは提案に対する質疑が行なわれました。

そうした経過の中で馬場市長から「条例提案を急ぐべきとの声に応えて、法的、技術的な可能性を検討してきた」「十月中旬にも、条例提案のための臨時議会を開きたい」旨の表明がなされました。

(臨時市議会は10月27日に開かれます)

党市議団は条例提案に先立ち市長に対し、「こうした条例は本来市長が提案し、全会一致で成立させることが望ましい」「市長にその意思があるなら、我々は提案を取り下げる用意もある」と、申し入れていました。

したがって党市議団は市長のこの発言を重視し、賛同議員と相談の上、提案した条例を撤回しました。

当初市は、「今からでは間に合わない」などと、消極的な姿勢でしたが、住民運動の広がりと、市議会での論戦が事態を打開する力となりました。

《中野あきとの生活相談メモ》(8月)

- 保育所入所の相談**
家族の就労実態の変化を踏まえ、入所申請をやり直す。(認証、無認可保育所への申し込み)
- 生活の困窮** 生活保護の申請を行なう
- 区画整理の移転に関わる相談**
調査後、妥当な換地対応が行なわれていると判断。相談者に伝える。
- 工事中の事故被害の相談**
弁護士と相談しながら交渉をすすめる。

みえ子の飛びある記



▼積年の思い実現を▲
《乳幼児医療費の所得制限撤廃》
前都議会議員 村松みえ子

乳幼児医療費の所得制限について、九月都議会でも自民党議員と公明党が、撤廃をもとめる質問を行ないました。

私は議員在籍中から、23区ではほとんどが所得制限が撤廃されて

いるのに、財政力の弱い多摩地域では撤廃できない市町村が多いことを問題にし追及してきました。都民の運動と、日本共産党のくり返しの要求が、与党にも影響を与えたもので、必ず実現させたいと思っています。

一方、少人数学級の実現については、全国で残っていた佐賀県、石川県が来年度実施を表明しました。残るは香川、岐阜、そして東京都だけです。

市内でも小学校の統廃合をめぐり、少人数学級の実現が父母や市民の方々の中で、大きな議論になりました。日野市でも、更に運動を發展させたいと思います。

☆映画☆ 秩父事件120周年記念作品

草の乱

神山征二郎 監督
緒形直人 主演

2004年11月21日(日) 日野市民会館
上映開始 午前10時。午後1時30分
協力券 一般1300円 シニア1000円
中野事務所にあります。 ※他とも共通

救急車配備、ミニバス停留所など 平山公社自治会が対市交渉

9月30日、平山住宅自治会は、消防署豊田出張所への救急車配備やミニバス新路線（西平山路線）計画における停留所の設置、ゴミ問題など9項目の要望で対市交渉を行ないました。

対応した河内助役は、「バス停留所については、既存の市内路線の停留所はそのまま残る。新路線については、できるだけ平山住宅寄りに近付けるよう調整中だが、現状では難しい」「救急車の配備問題は、近隣の方々との経過もあるが市としても必要だという認識なので、合意が得られるよう対応したい」と回答しました。なお、この交渉には自治会と老人会から28名が参加、中野あきと議員も同席しました。

乳幼児医療費 助成制度

10月から3才児まで所得制限を撤廃

小学生への適用も検討（中野議員の質問で市長）

日野市では十月一日から、乳幼児の医療費助成制度の所得制限が、三才児まで撤廃されることになりました。

これによって所得制限で対象外だった約八〇〇人の乳幼児が、助成が受けられるようになりました。

助成を受けるためには申請手続きが必要となります。

（問い合わせ先 市役所『子育て課』まで）

同制度の、所得制限の撤廃 また、先の九月市議会の決

は昨年六月、共産党市議団が算委員会では中野あきと議員は各会派代表者会議の席で「市長がやらないなら、議員の条例提案権を活用して条例改正をやる」と提案したことが契機になって実現したものです。その結果、制度の拡充を求める決議が全会一致で採択されました。

それを受けて昨年九月議会でも、所得制限を三才児まで撤廃する内容の条例改正が行なわれ、今年十月からの施行となったものです。

9月市議会、決算委員会の質疑から

30人学級の意義さえ認めない、特異な市教委の立場

全国四十二道府県で少人数学級への取り組みが進み、多摩近隣の自治体でも、その必要性を認める状況に至っているも、日野市は、いったいどういう考えをもっているのか。九月市議会の決算委員会で、市に質問を行ないました。

以下はその要です。小学校の統廃合の中でも保護者や住民の方々が、その必要性を訴えていたのですが……。

中野あきと

中野

いま、少人数授業が習熟度別という形で算数などの一部の授業で実施されているが少なくとも学習集団としての少人数の必要性は認めるか。

市教委

教科ごとにそれぞれあるので、一概に少人数がいいとは言えない。

中野

少人数学級のもう一つの側面、子どもたちの人間形成を保障する生活集団としての単位を考へても、少人数学級の意義は明確だと思ふが市はどういう認識か。

市教委

切磋琢磨できる環境の中での人間成長とい面もあるし、単純には言えない。

中野

市として必要性は感じてはいるが、都がそういう方針を出さないで、と言うならまだ理解できるが、生活集団はもちろん、学習集団としての少人数の意義さえ認めないというのは、近隣の他の自治体の姿勢と比較しても、本当に特異な立場だ。子どもたちと教育の実態に向き合っているのか。市の姿勢が問われる問題だ。



短信

史上初めてプロ野球選手がストライキを行ない、球団側から譲歩を勝ち取りました。選手の団結と支持した世論の勝利です。日野市でも住民パワーが、行政を動かしました▽三沢緑地の地下室型マンシヨンの建設に対して市は、異例の臨時市議会を開催して条例を提案、開発規制に動き出すことになりました。「今からでは間に合わない」「裁判も覚悟しなければならぬのだ」と市は、九月議会の冒頭まではこんな態度でした。▽環境を守れりと請願署名に寄せた周辺住民の方々の熱意と、党市議団などの規制に関する条例提案が事態を打開しました▽マンシヨンなどの高さを制限する条例も、旭が丘の住民の方々の思いが実ったものです。富士電機跡地の高層マンシヨン建設では不十分な結果で解決せざるを得ませんでした。こんな苦痛を今後市内で再現させると請願を提出し実現しました▽「球界の今後がかかっている」「泣き寝入りは孫子の代まで禍根を残す」。立ち上がった人たちの労苦が報われました。